

○長期的な人口減少に対応しながら、能登が復興を遂げるためにも、
地域に多様な形で関わる「関係人口」の創出を図ることが重要

<これまでの取組>

- ・**県内大学と連携**し、豊かな自然や文化などを活かした**フィールドワーク**や**学生の祭りへの参加**を促進



【県内大学との連携拡大】
能登の復興や**災害対応**の
取り組みの**支援枠を拡大**
《6月補正予算に計上》

県外大学にも拡大

(就職支援協定、包括連携協定締結校など)

関係人口の創出を図るため、
学生に**地域での学びの機会**を提供する「いしかわサテライトキャンパス」を推進

- ▶ **6月補正予算で計上するとともに、**
創造的復興プランのリーディングプロジェクトにも位置付け

○事業者が決定し、**夏休みに向け、参加学生の募集を開始** (参加者の目標:100人)

詳細はこちら→



復興型 (能登)

被災地での災害ボランティアと併せて、地域の農林水産業などの事業者や地域住民との意見交換などによる地域との交流を促進

→活動例：復旧作業全般、自主避難所の運営、草刈りなど農作業、被災者の傾聴
※ボランティアでの滞在中、地域住民との意見交換や食事会の場を提供

事業者： (株) 雨風太陽 (代表：高橋 博之)

県復興アドバイザーボード委員



瓦礫撤去などの復旧作業

学生向け説明会

第1回 7/13(土)

第2回 7/20(土)

オンラインにて実施予定

一般型 (加賀中心)

フィールドワークを通じて、地域での学びの機会を提供するほか、地元企業でのインターンシップの機会も提供

→活動例：重伝建 (東谷(ひがしたに)・白峰など) 地区：農作業、炭づくりなど集落の手伝いをしながら地域の将来を住民と考える

加賀温泉郷：地域で活動する人の話を聞き、魅力発掘や温泉間の連携について考える

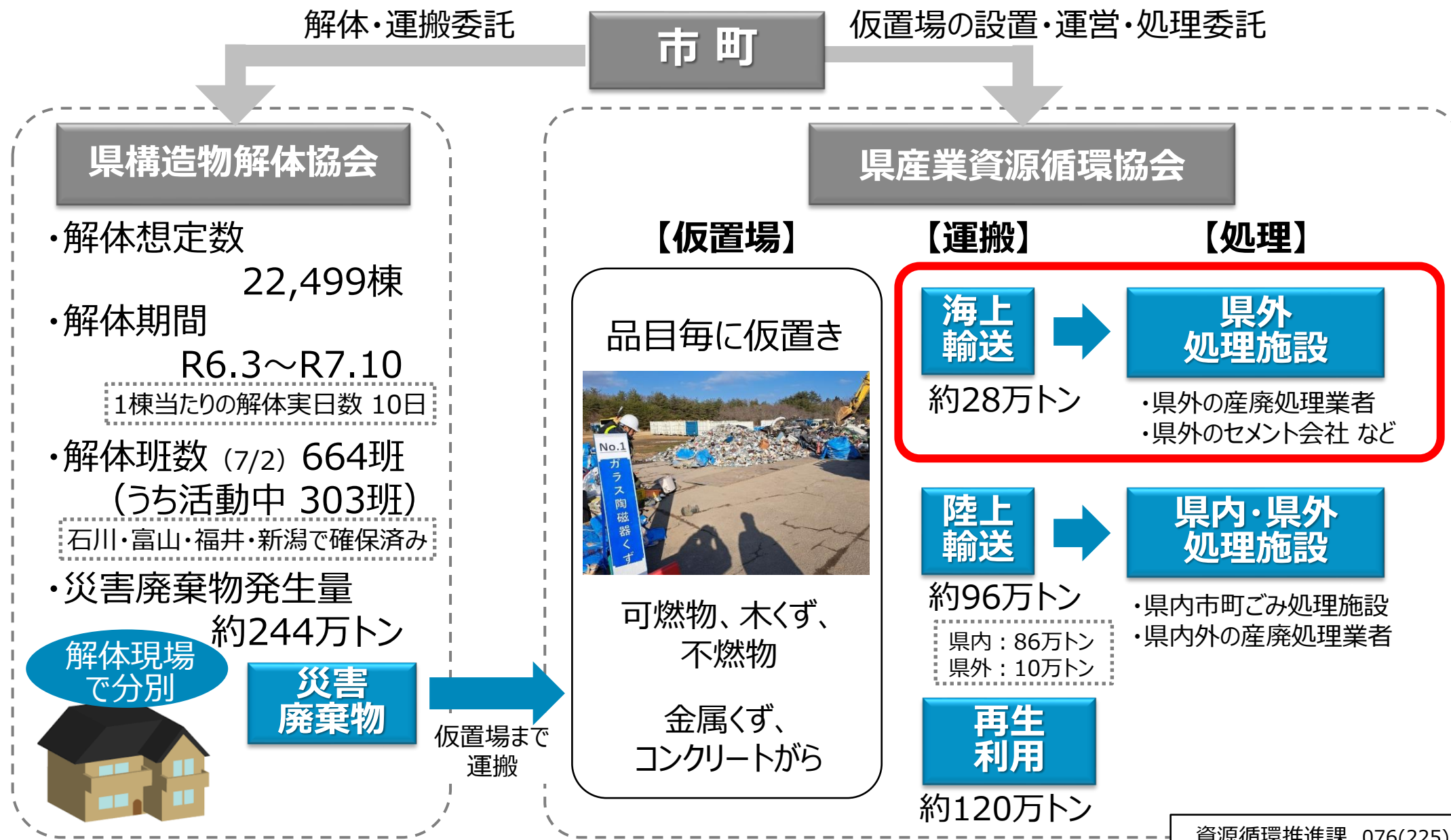
事業者： (株) ぶなの森 (代表：高峰 博保)

移住体験機会の提供や県外学生の活動支援で実績



農作業の手伝い

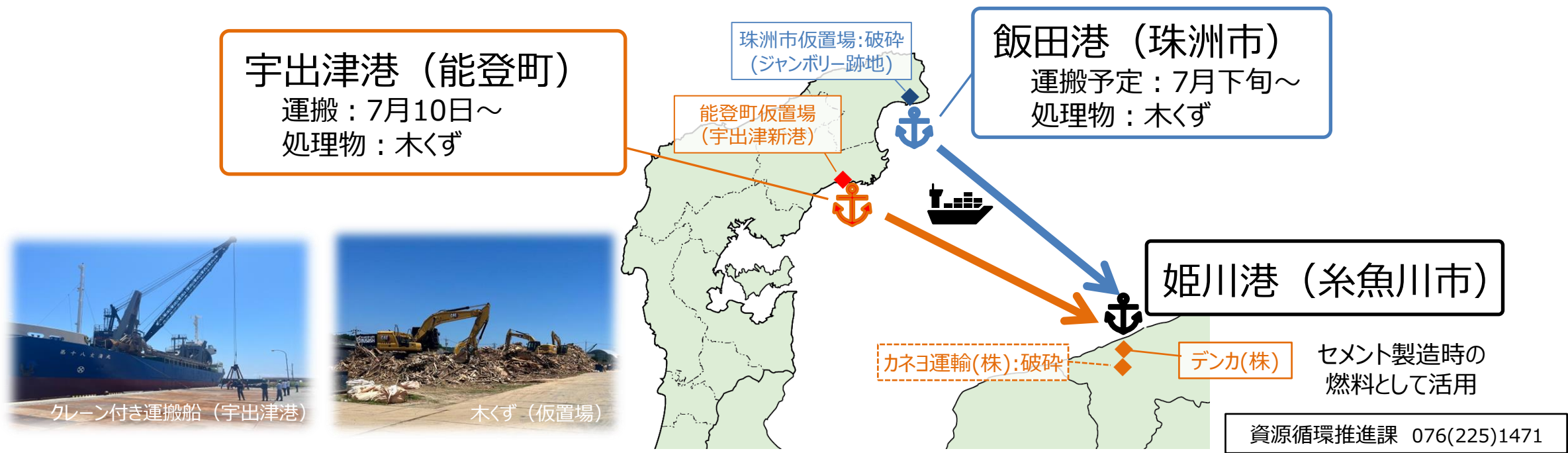
災害廃棄物の処理体制



災害廃棄物の海上輸送の実施について

- 解体工事の本格化に合わせ、国や他県等とも連携しながら、海上輸送も含めた仮置場からの解体ごみの搬出や、広域処理を含めた受入先の確保を進める
- 可能な限り再生利用することにより、最終処分量を低減

- 船舶による解体ごみの搬出を本日（7月10日）から開始
- 搬出した木くずをセメント製造時の燃料として活用



公費解体の進捗状況

◆公費解体の状況（7月8日現在）

資源循環推進課 076(225)1471

	解体想定棟数※	申請棟数	着手棟数	完了棟数	解体状況		
					公費解体	緊急解体	自費解体
珠洲市	5,562	4,950	1,043	428	335	91	2
輪島市	3,584	6,815	874	225	77	139	9
能登町	2,759	1,824	482	90	85	2	3
穴水町	2,490	2,083	486	209	207	0	2
志賀町	2,269	3,001	350	133	34	9	90
七尾市	4,261	2,499	382	98	20	0	78
その他	1,574	1,811	487	155	46	4	105
計	22,499	22,983	4,104	1,338	804	245	289
(6/24時点)	-	(20,865)	(2,601)	(911)	(468)	(217)	(226)

※ 解体想定棟数（22,499棟）は、発災直後の1月に防災科学技術研究所のシステムにより、国土地理院空中写真による家屋数と震度を使用して推定した被害棟数などに、環境省「災害廃棄物対策指針」の公費解体率（全壊75%、半壊25%）を乗じて算出

- 7月8日時点で申請棟数が、当初の解体想定棟数22,499棟を上回った
- 申請状況や実際の被害棟数などを踏まえ、国や市町とも協議の上、解体想定棟数の見直しを進めている
- 見直しを踏まえ、さらなる解体班数の増や仮置場の増設などの対策を実施

愛称

もりのひみつきち

募集期間 4/12～5/12の約1カ月間

応募総数 **1,456件**

県内：937件（64.4%） 県外：519件（35.6%）

→応募者2名（かほく市 30代の方、白山市 20代の方）



選考理由

MISIA名誉園長のコメント

「とてもわくわくする名前だと思いました。応募された方も理由としていたように、遊具の雰囲気にも合っていて、子どもたちが木育に親しみながら、ひみつきちの遊具で遊んでいる姿が浮かびました。森はたくさんの生き物たちが生きる場所であり、居場所です。その生き物の1つは人間でもあります。私たちが自分たちの生きる場所について知るのはとても大切なことです。

子どもたちにとって、この場所がわくわくしながら木や森に触れられる場所になりますように。」



©リズムメディア

オープン 7月20日（土）

営業時間 9:00～16:30（年末年始休み）
利用料金 子ども：400円、大人：300円、
年間パスポート：1,200円

※当面の間は、1時間ごとの人数制限を実施予定
混雑状況については、森林公園HPをご確認ください

施設の特徴

- 雨や雪の日でも遊べる**全天候型の木育施設**
- 県産木材（スギ・アテ）**をふんだんに使用
- 内部中心に**大型木製遊具**を設置し、遊具の一部に障害の有無に関わらず、あらゆる子どもが遊べる**「インクルーシブエリア」**を設定

